

とうきょう すくわくプログラム実践報告書(八王子市)

施設名	八王子市立みなみ野保育園
-----	--------------

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然

<テーマの設定理由>

昨年度から継続して畑作りをする中で、育てている野菜に水やりをしたり、生長を楽しみにしたりすることも多くいる。野菜の育ちが順調だった矢先に、育てているサツマイモが一つ掘り返され食べられていた。こどもたちにその事を伝え、何の動物に食べられたのか、どこから来たのか、どうやって掘り起こしたのか等意見が出てきた。調べたり話し合いをしていく中で、動物や畑作りに更に興味関心を深める。
--

2. 活動スケジュール

春 サツマイモが食べられていることを知り、図鑑や絵本で動物や昆虫が何を食べるのか、どこに生息するのか等を調べる。
秋 ・動物園に行き、実際に動物や昆虫を見る。(飼育員の方に食べられたサツマイモの写真を見せる予定だったが、会えなかった。) ・食べられたサツマイモの写真とこどもたちが書いた手紙も一緒に入れ、ポストへ投函しに行く。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

カメラ、SD カード、インク、図鑑飼育ケース、支柱、寒冷紗、スコップ、プランター、マッキー、両面テープ、画用紙、顕微鏡

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

動物や昆虫について図鑑や絵本で何を食べるのか、どのような場所に生息しているか等を調べていく。実際に動物園に行き、飼育員の方にサツマイモの写真を見せる予定だったが飼育員の方に会えず、どうしようかと投げかけると手紙を書くことになった。ポストに投函後、半月後に動物園から返信が来る。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

サツマイモが食べられたことを知り、「虫かな?」「家の近くでアライグマを見たことがあるからそれかもしれない!」「カラスじゃない?」「おばけかもしれない…」等と声上がる。動物園では、飼育員の方に会えなかったことを残念そうにしていたが、手紙を書くことが決まると「私が書きたい」「サツマイモの写真も入れておこうよ」と声上がる。「みんなで郵便局に行って、手紙を出しに行こうか」と保育者が提案すると「それがいい!」と喜ぶ。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

サツマイモを食べたのが何なのかをこどもたちに投げかけてみると、思い付きで発するよりも「〇〇だから△△なんじゃない？」と理由も付けて考える子が多いことに驚きを感じた。また、保育者の意見を求めるのではなく、自分たちで図鑑等を用いて調べてみたり、飼育員さんに会えなかった時には手紙を書いてみたりと、自分たちで考え主体的に行動していると感じた。サツマイモを食べたのが虫だとわかると驚く子が多く、保育者がまとめたドキュメントを友だち同士で見に行き、その虫の写真を見て「見たことあるかも」と考えたり、それをまた図鑑で調べてみたり、おうちの方に伝えたりと、興味関心が続いていくことがわかった。